

授業と評価の年間計画

| | | | | |
|------------------|--|---|---|---|
| 教科 | 理数 | 科目 | 理数化学 | |
| 使用教科書（発行所） | | | 改訂版 化学（数研出版） | |
| 履修条件 対象生徒 | 必修 理数科 3年 | | | |
| 学習目標 | 化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。 | | | |
| 学習方法 | <p>【授業】 教科書や資料集、授業プリント等を用いて、授業を展開する。必要に応じて、実験レポートを作成して科学的な実力を養成する。</p> <p>【家庭】 授業で示した参考書やプリント等を活用して、復習に重点を置いた努力をすること。予習は、次回範囲を一読し、重要語句を把握しておくことが大切である。</p> <p>【補習・その他】 課題のプリントや授業中に指示した宿題の他、入試問題集等を計画的に学習することで、実力を積み上げていくことが望まれる。</p> | | | |
| 学習計画 と ねらい | 1 1学期 (1) 中間考査まで 第3編 無機物質 第2章 金属元素（Ⅰ）典型元素 第3章 金属元素（Ⅱ）遷移元素 (2) 期末考査まで 第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物 | | <ul style="list-style-type: none"> 無機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を学ぶ。化学領域の基本法則やいろいろな化学反応について学ぶ。 有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を学ぶ。化学領域の基本法則やいろいろな化学反応について学ぶ。 脂肪族化合物と芳香族化合物を中心に構造と性質を学ぶ | |
| | 2 2学期 (1) 中間考査まで 第5編 天然有機化合物 第6編 合成高分子化合物 (2) 期末考査まで 入試対策Ⅰ（共通テスト演習） | | <ul style="list-style-type: none"> 生活や生命に関わる高分子化合物の基礎を学ぶ。 糖やタンパク質などの天然高分子と合成繊維やプラスチックなどの合成高分子についての構造、性質、用途などを学ぶ。 入試対策演習Ⅰでは、基本的な入試問題の対策を行い、共通テストに向けた力をつける。 | |
| | 3 3学期 入試対策Ⅱ（二次試験演習） | | <ul style="list-style-type: none"> 入試対策演習Ⅱでは、応用的な内容を取り扱い、学習の深化を図る。 | |
| 評価規準 | 知識・理解 | 技能 | 思考・判断・表現 | 関心・意欲・態度 |
| | 自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 | 観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に表現することができる。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、探究することができる。 | 自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。 |
| 評価方法 | 定期考査、授業態度、課題・提出物・小テストなどを総合的に判断して評価する。 | | | |
| その他 | 化学実験ノートを用いた学習、実験・観察等を通して探究的な学習を実施する。授業で学ぶ、基本事項についての理解が最も重要である。授業を大切にしている姿勢を保ちながら十分な演習を行ってほしい。 | | | |